

2023年3月期 決算説明会



2023年5月12日
株式会社トプコン
代表取締役会長 平野 聡



会社紹介
ビデオ

2023年3月期 決算説明会

I. 2023年3月期 決算報告

II. 第三次中期経営計画 振り返り

III. 参考資料

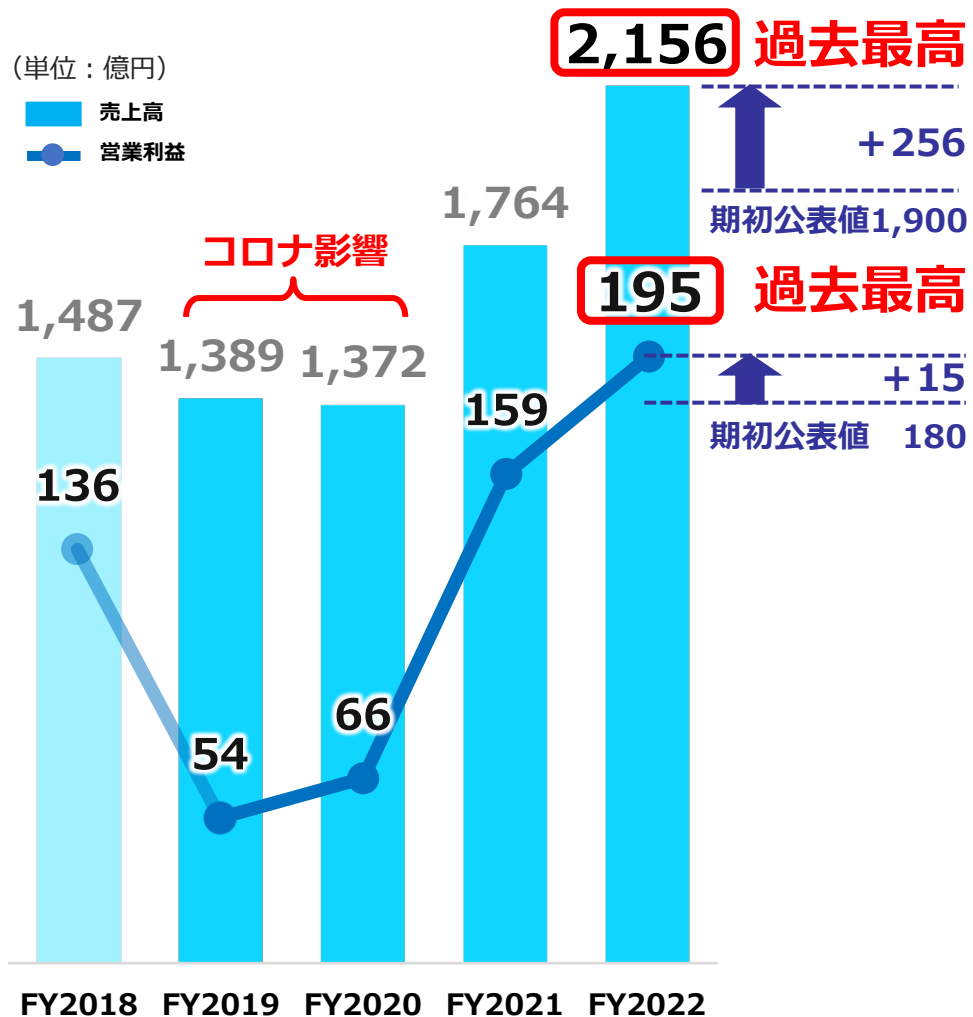
I . 2023年3月期 決算報告

I-1. 2023年3月期 決算概要

I-2. 事業別の状況

FY2022 決算概要

大幅増収・増益、公表値達成



第三次中期経営計画

売上高	前年度比	122%
営業利益		123%
配当	実績	42円
		過去最高

- ICT自動化施工、IT農業、スクリーニングビジネスなどの成長事業が売上増を牽引
- 価格改定効果
- 円安の恩恵
- 部材不足、部材・物流費高騰の影響を全社総力で低減

FY2022 実績 (連結)

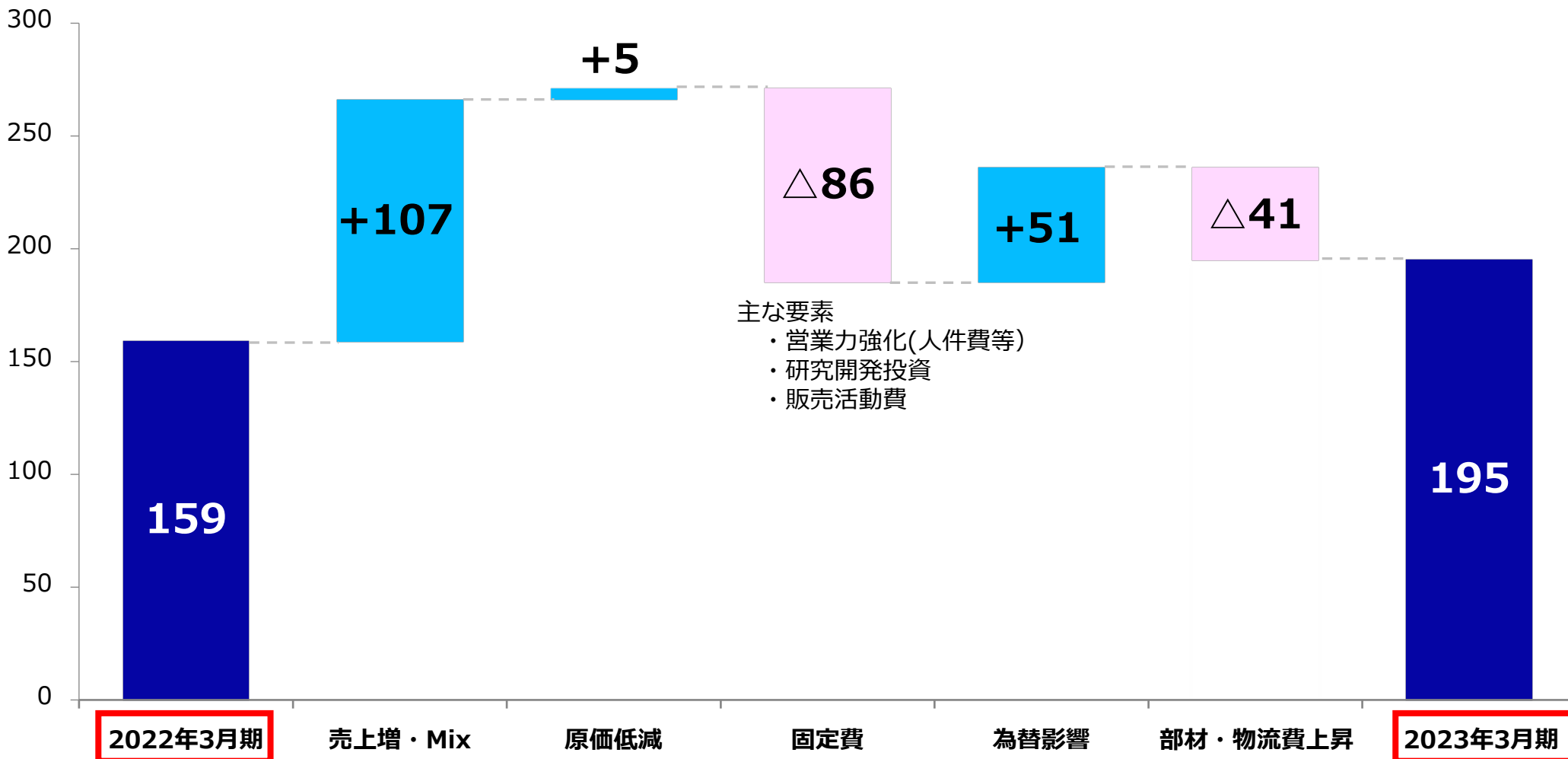
(単位：百万円)

	FY2021	FY2022			
		通期実績	前年度比	%	1月30日 公表値
売上高	176,421	215,625	39,204	+22%	205,000
売上総利益 (売上総利益率)	90,093 (51.1%)	112,401 (52.1%)	22,308		
販管費	74,178	92,864	18,685		
営業利益 (営業利益率)	15,914 (9.0%)	19,537 (9.1%)	3,622	+23%	19,500 (9.5%)
営業外損益	△1,094	△1,707	△612		
経常利益	14,820	17,829	3,009	+20%	18,000
特別損益	△174	△1,791 ※	△1,616		
税引前利益	14,645	16,038	1,392		
純利益	10,699	11,806	1,106	+10%	12,500
ROE	14.0%	13.2%			14%
年間配当	36円	42円			42円
配当性向	35%	37%			
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	112.86 円 131.01 円	134.95 円 141.24 円	22.09 円 10.23 円	(Q4前提 レート) 130円 135円

※開発費・アスベスト関係の減損損失、及び和解金

FY2022 増減益分析 (営業利益ベース:前年度比)

(単位: 億円)



I . 2023年3月期 決算報告

I-1. 2023年3月期 決算概要

I-2. 事業別の状況

売上高・利益 過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022			1月30日 公表値
	通期実績	通期実績	前年度比	%	
売上高	96,692	124,731	28,039	+29%	118,000
営業利益 (営業利益率)	11,548 (11.9%)	15,427 (12.4%)	3,878	+34%	14,500 (12.3%)
為替 換算レート (期中平均)	USD 112.86 円	134.95 円	22.09 円		
	EUR 131.01 円	141.24 円	10.23 円		

業績要因分析

全般

- 部材不足の影響も、好調な需要を取込み大幅増収増益
- 部材・物流費高騰の影響継続

ICT自動化施工・IT農業

- アフターマーケット・OEM共に販売好調継続

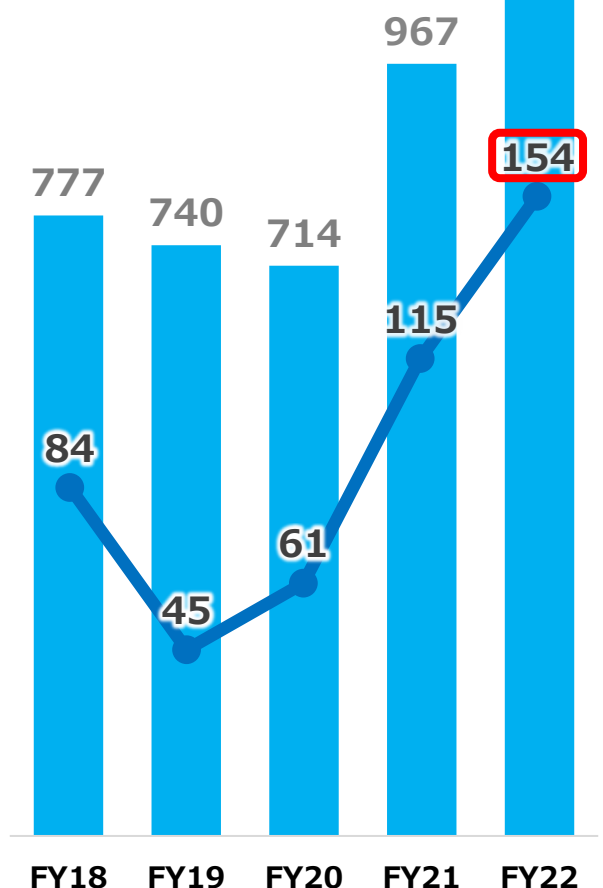
測量機・レーザー機器

- 測量機は部材不足、レーザーは住宅投資減の影響で販売減

売上高・損益推移

(単位：億円)

■ 売上高
● 営業利益



第三次中期経営計画

売上高 過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022			1月30日 公表値
	通期実績	通期実績	前年度比	%	
売上高	39,040	42,163	3,122	+8%	42,000
営業利益 (営業利益率)	5,821 (14.9%)	5,037 (11.9%)	△784	△13%	5,000 (11.9%)
為替 換算レート (期中平均)	USD 112.86 円	134.95 円	22.09 円		
	EUR 131.01 円	141.24 円	10.23 円		

業績要因分析

全般

- 国内向け販売堅調、アジア・中東も伸長
- 部材不足に伴う測量機生産減の影響継続

国内ICT自動化施工・IT農業

- 中小型建機・農機向け自動化システムの販売大幅伸長

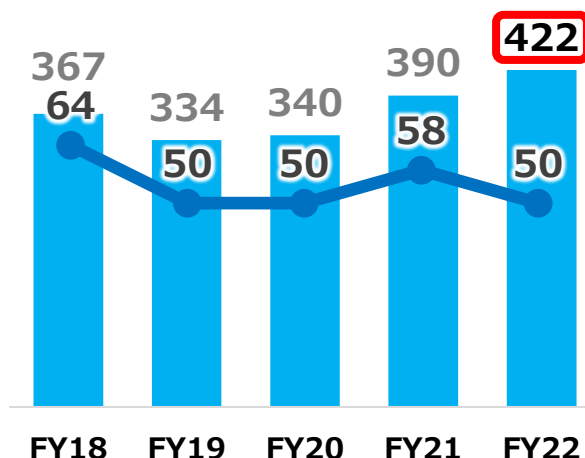
成長投資

- 建築DX: 販売網やビジネスパートナー新規開拓に向けた人員増強
大手住宅建設グループから大口受注
- アジア: 市場開拓に向けた人材獲得、組織強化

売上高・損益推移

(単位：億円)

■ 売上高
● 営業利益



第三次中期経営計画

売上高 過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022			1月30日 公表値
	通期実績	通期実績	前年度比	%	
売上高	57,352	66,899	9,547	+17%	65,000
営業利益 (営業利益率)	3,203 (5.6%)	3,968 (5.9%)	765	+24%	5,000 (7.7%)
為替 換算レート (期中平均)	USD 112.86 円	134.95 円	22.09 円		
	EUR 131.01 円	141.24 円	10.23 円		

業績要因分析

全般

- 部材不足による影響も、欧米及びアジア向け好調な販売で大幅増収
- 中国は新型コロナ影響の長期化で販売減
- 部材・物流費高騰の影響継続
- 新規事業向け先行投資

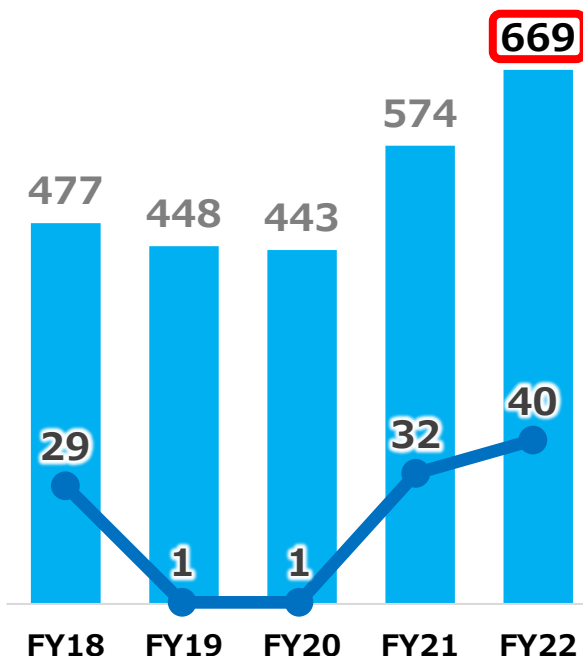
スクリーニング機器、デジタル検眼システム

- 欧米大手眼鏡チェーン向けを中心に高水準な販売継続

売上高・損益推移

(単位：億円)

■ 売上高
● 営業利益



第三次中期経営計画

Ⅱ. 第三次中期経営計画 振り返り

Ⅱ-1. 第三次中期経営計画 振り返り

Ⅱ-2. 事業別の振り返り

Ⅱ-3. まとめ

再掲 第三次中期経営計画 概要 (2019年4月26日発表)

第三次中期経営計画 (2019年度 - 2022年度)

成長事業の推進加速

戦略1

成長市場での
事業展開加速

戦略2

基盤事業の
収益力強化

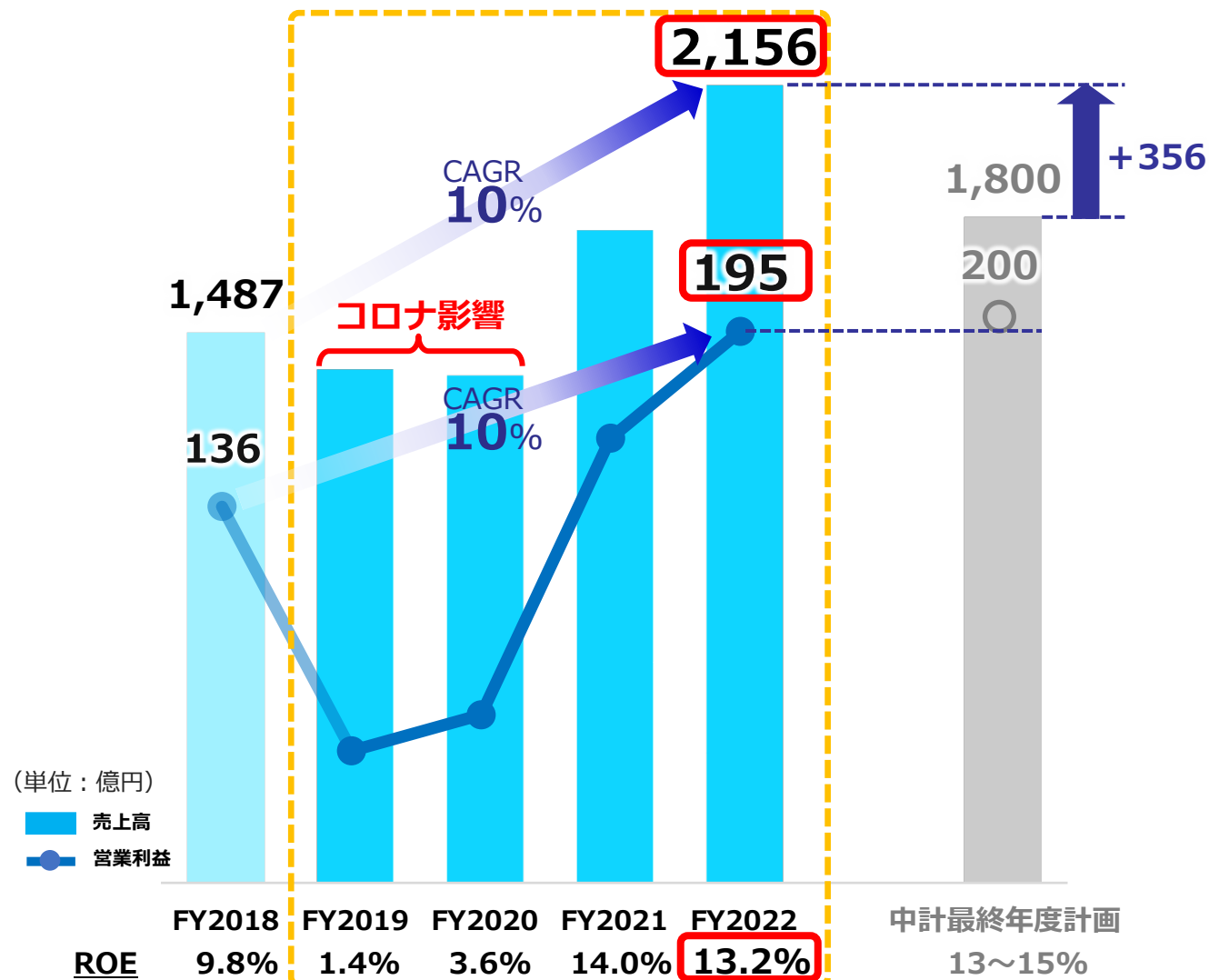
戦略3

潜在的な新市場の
創出

ROE 13~15%を目標!

第三次中期経営計画 振り返り

- コロナ禍/地政学問題による甚大な影響も、売上・利益とも年率二桁成長



売上高

成長戦略奏功、計画値を超過

営業利益

サプライチェーン問題によるコスト増も最高益更新

ROE

成長戦略奏功、目標値を達成

Ⅱ. 第三次中期経営計画 振り返り

Ⅱ-1. 第三次中期経営計画 振り返り

Ⅱ-2. 事業別の振り返り

Ⅱ-3. まとめ

事業別の振り返り

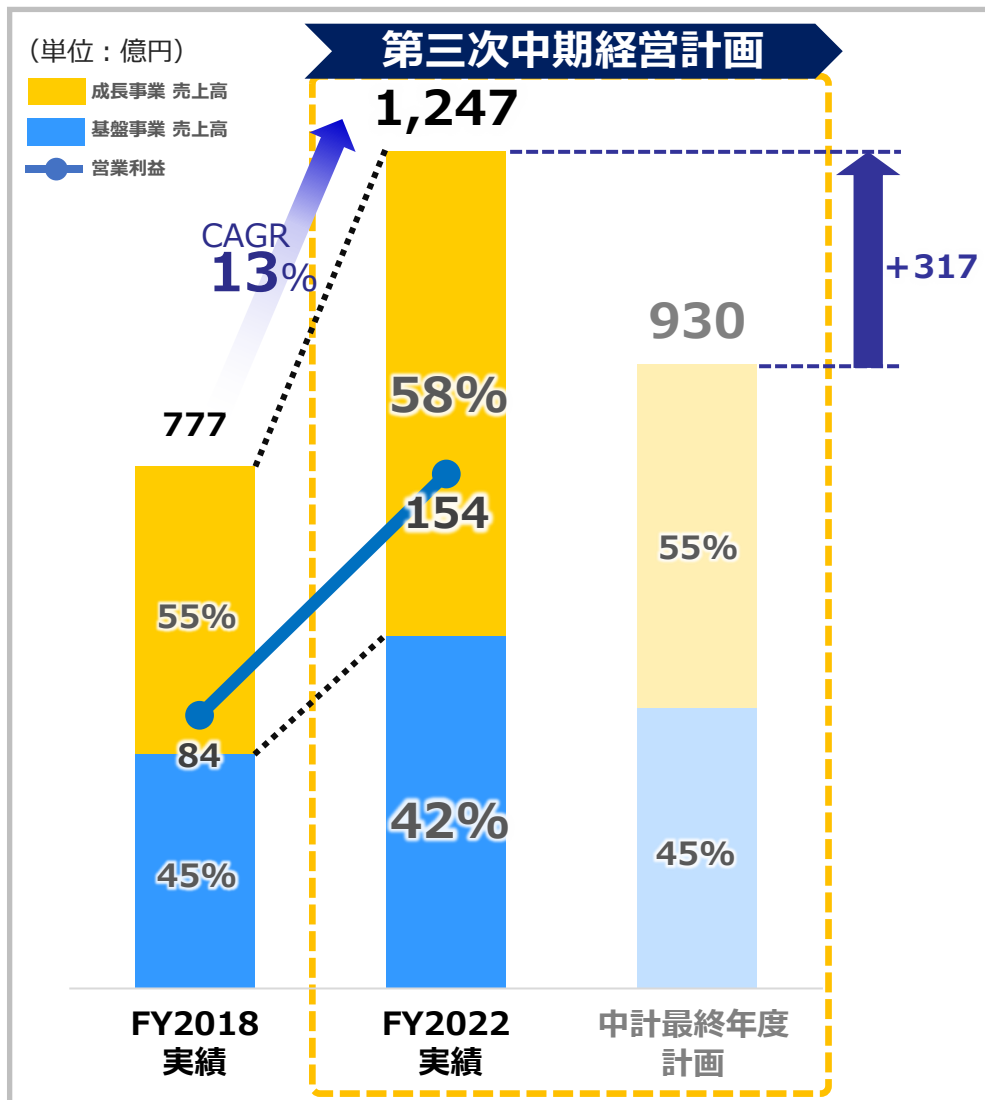
戦略1
成長市場での
事業展開加速

戦略2
基盤事業の
収益力強化

戦略3
潜在的な新市場の
創出

ポジショニング

売上高 計画値を大幅超過



成長市場での
事業展開加速

	FY2018	FY2022
売上高	424億円	722億円

ICT自動化施工

- 労働力不足による自動化ニーズを捉えアフターマーケット・OEM共に売上拡大

IT農業

- 高水準の穀物価格及び労働力不足による自動化ニーズを捉えアフターマーケット・OEM共に売上拡大

基盤事業の
収益力強化

	FY2018	FY2022
売上高	353億円	525億円

- 米国インフラ投資雇用法（総額1.2兆ドル）による公共投資を取り込む

潜在的な新市場の
創出

- 中小型建機・農機向け廉価版自動化システムを上市し事業化
- 再舗装エコシステムを上市し事業化

事業別の振り返り

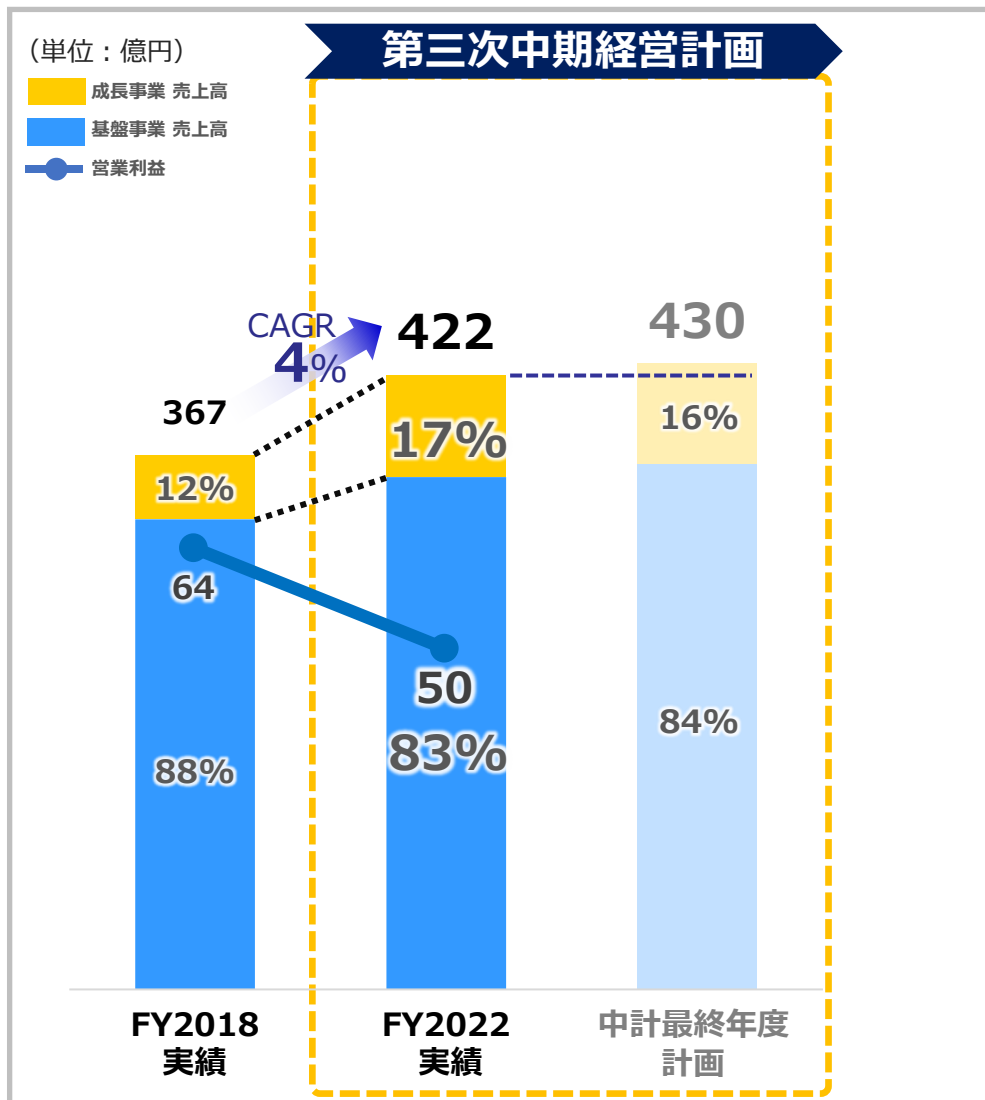
戦略1
成長市場での
事業展開加速

戦略2
基盤事業の
収益力強化

戦略3
潜在的な新市場の
創出

スマートインフラ

売上高 計画値通り



成長市場での
事業展開加速

	FY2018	FY2022
売上高	45億円	70億円

ICT自動化施工

- 国内i-Constructionの普及に取り組み、建機自動化システム及び3次元計測機を拡販
- i-Construction導入機として、レイアウトナビゲータを拡販

IT農業

- 新型コロナ対策の政府補助金により市場拡大、タイムリーな廉価版システム投入によりシェア拡大

基盤事業の
収益力強化

	FY2018	FY2022
売上高	322億円	352億円

- 国土強靱化計画 (事業規模約15兆円) による建設需要を取り込む

潜在的な新市場の
創出

- 建築DX事業を創出し、新規人材雇用で体制強化中
- アジアでのICT自動化施工/IT農業市場創出に向け統括会社を設立 (2020年4月設立、拠点数8カ所)

事業別の振り返り

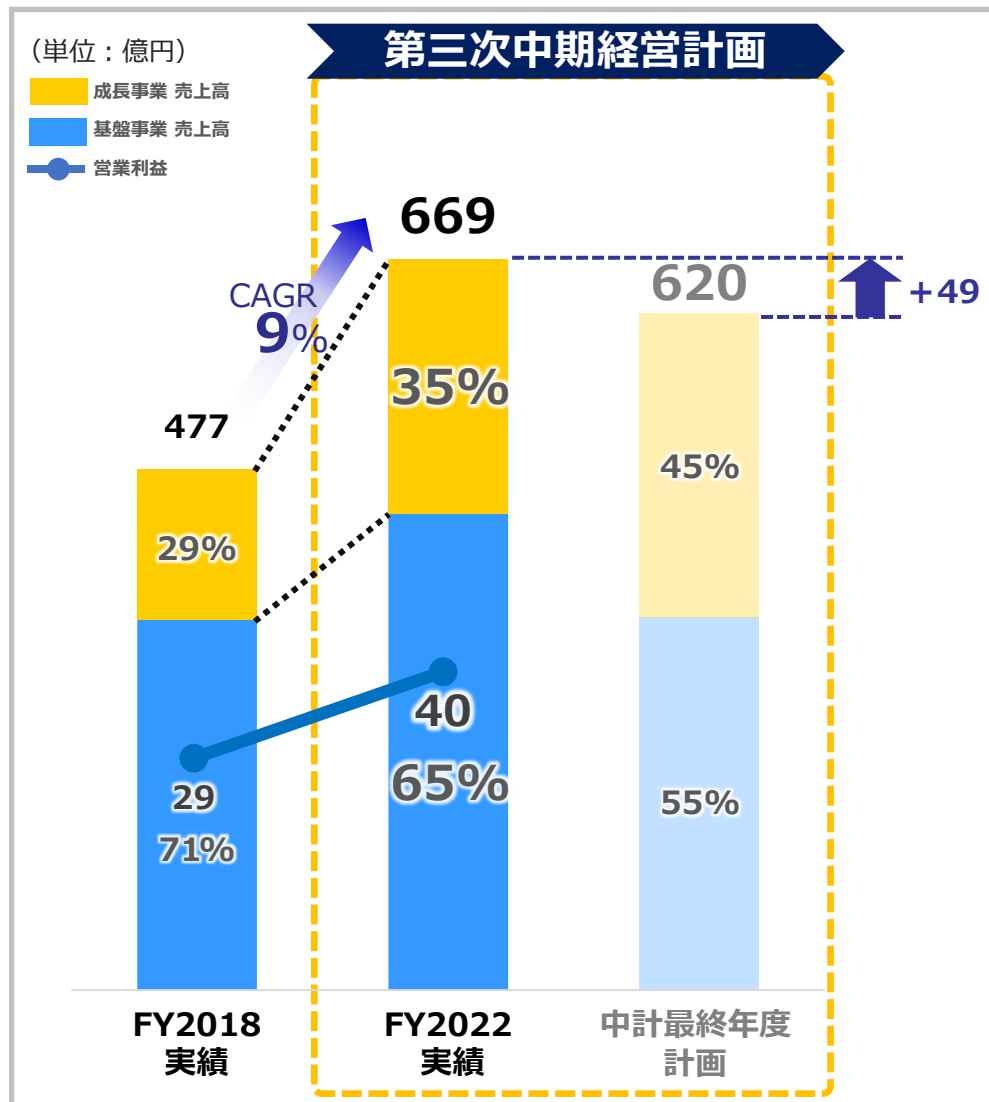
戦略1
成長市場での
事業展開加速

戦略2
基盤事業の
収益力強化

戦略3
潜在的な新市場の
創出

アイケア

売上高 計画値を超過



成長市場での 事業展開加速	FY2018	FY2022
売上高	140億円	233億円

スクリーニングビジネス

- 欧米大手眼鏡チェーン店向けスクリーニング機器の売上拡大

ソフトウェア開発

- ソフトウェア開発子会社（米国）への投資がスクリーニングビジネスの拡大に貢献

中国事業

- 販売網再編や現地生産拡大により、中国売上倍増

基盤事業の 収益力強化	FY2018	FY2022
売上高	337億円	436億円

- 欧米大手眼鏡チェーン店向けデジタル検眼システムの売上拡大

- 伊VISIA社買収によるシナジー効果の発現

潜在的な新市場の 創出

- スクリーニングデータ活用によるシェアードケア事業の立ち上げ
⇒ ゲームチェンジャーへの期待

Ⅱ. 第三次中期経営計画 振り返り

Ⅱ-1. 第三次中期経営計画 振り返り

Ⅱ-2. 事業別の振り返り

Ⅱ-3. まとめ

第三次中期経営計画 (2019年度 - 2022年度)

成長事業の推進加速

戦略1

成長市場での
事業展開加速

達成！ CAGR 14%

売上高

609億円 (FY2018)



1,025億円 (FY2022)

戦略2

基盤事業の
収益力強化

達成！ CAGR 7%

売上高

1,012億円 (FY2018)



1,313億円 (FY2022)

戦略3

潜在的な新市場の
創出

達成！

- 中小型建機・農機の
自動化学業創出
- 建築DX市場の創出
- スクリーニングデータ活用
による事業立ち上げ

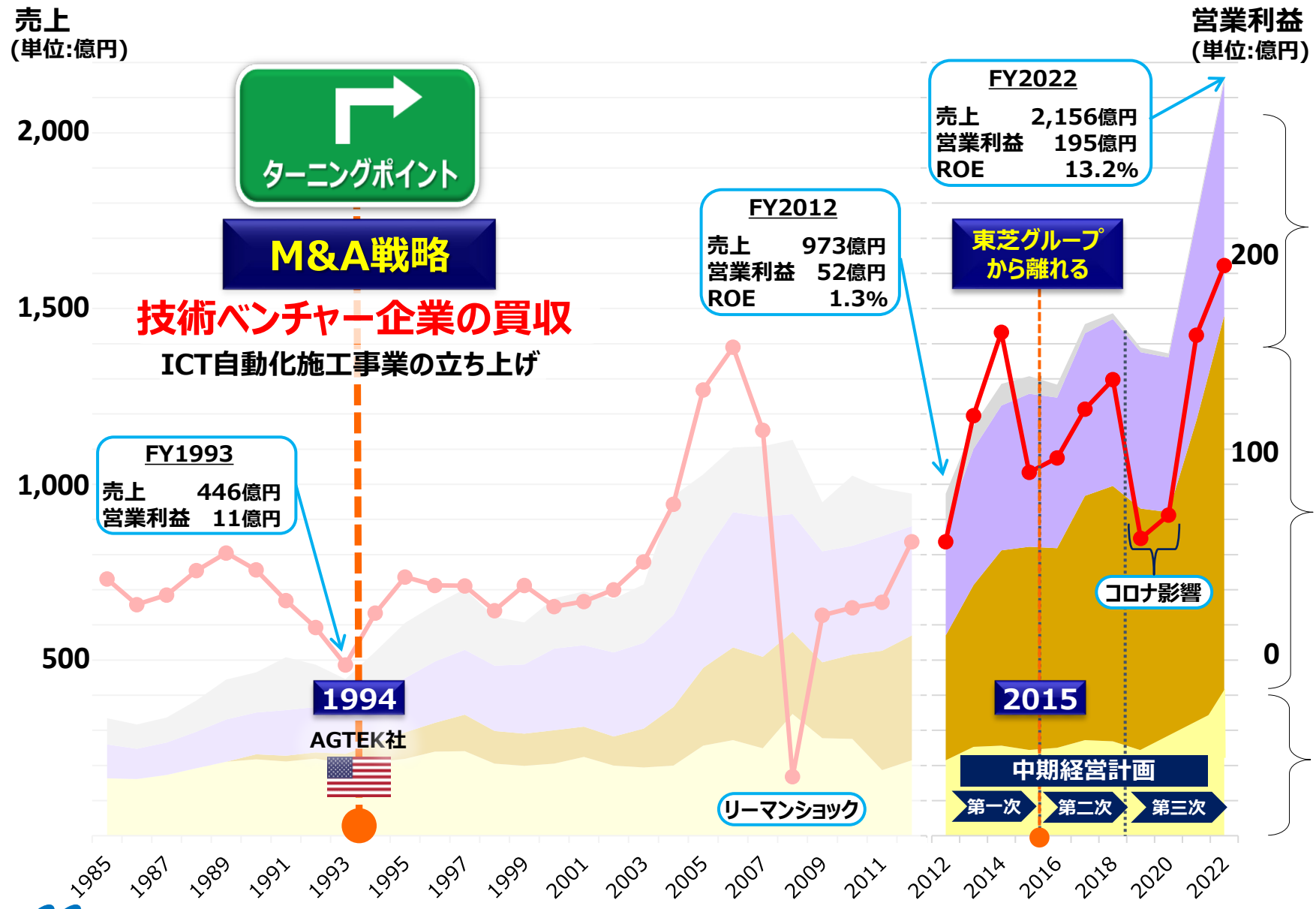
ROE 13~15%を目標!

達成！

最終年度13.2%

**コロナ禍や地政学問題、それらに伴うサプライチェーン問題
があるも成長事業の推進加速を達成！**

10年間の振り返り (第一次、第二次、第三次中期経営計画)



主要計数実績

	FY2012	FY2022	
売上高	973億円	2,156億円	2倍超
営業利益	52億円	195億円	約4倍
ROE	1.3%	13.2%	
営業C/F ※1	9億円	166億円	
配当金	6円	42円	
M&A投資 ※2	約500億円、約20件		

※1 過去3年平均
※2 過去10年累計

成長事業の拡大

- ICT自動化施工**
黎明期から成長期へ移行
- IT農業**
成長を加速

新規事業の創出

- 建築DXの創出**
成長事業への大きな期待
- スクリーニング事業**
 - 創出から拡大事業へ移行
 - スクリーニングデータ活用事業の創出
⇒ ゲームチェンジャーへの期待

Topcon for *Human Life*

世界を丸く。



尖ったDXで、

DX銘柄
3年連続受賞



DX銘柄2022
Digital Transformation

Ⅲ. 参考資料

FY2022 実績 (事業別)

(単位：百万円)

		FY2021	FY2022			
		通期実績	通期実績	前年度比	前年度比%	1月30日 公表値
売上高	ポジショニング	96,692	124,731	28,039	+29%	118,000
	スマートインフラ	39,040	42,163	3,122	+8%	42,000
	アイケア	57,352	66,899	9,547	+17%	65,000
	その他	1,184	1,335	151		1,000
	消去	△17,848	△19,505	△1,656		△21,000
	合計	176,421	215,625	39,204	+22%	205,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	11,548 (11.9%)	15,427 (12.4%)	3,878	+34%	14,500 (12.3%)
	スマートインフラ	5,821 (14.9%)	5,037 (11.9%)	△784	△13%	5,000 (11.9%)
	アイケア	3,203 (5.6%)	3,968 (5.9%)	765	+24%	5,000 (7.7%)
	その他	△365	△344	21		△400
	調整	△4,293	△4,551	△257		△4,600
	合計	15,914 (9.0%)	19,537 (9.1%)	3,622	+23%	19,500 (9.5%)

第三次中期経営計画振返り（連結）

■ 計数実績

(単位: 百万円)

		第三次中期経営計画 FY2019-2022			
		FY2018	FY2022		
		実績	実績	CAGR (vs 2018)	計画
売上高		148,688	215,625	10%	180,000
営業利益 (営業利益率)		13,596 (9.1%)	19,537 (9.1%)	10%	20,000 (11.1%)
経常利益		11,497	17,829	12%	-
純利益		6,548	11,806	16%	-
ROE		9.8%	13.2%	+3.5pt	13~15%
年間配当		24円	42円	+18円	-
配当性向		39%	37%		35%以上
為替換算	USD	110.69円	134.95円		110円
レート (期中平均)	EUR	128.43円	141.24円		125円

第三次中期経営計画振返り（事業別）

(単位: 百万円)

■ 事業別

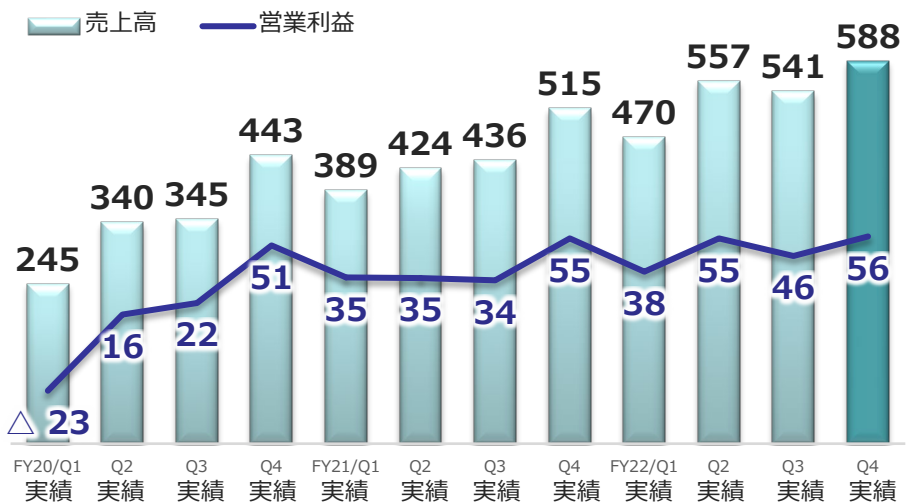
第三次中期経営計画 FY2019-2022

		FY2018	FY2022		
		実績	実績	CAGR (vs 2018)	計画
売上高	ポジショニング	77,722	124,731	13%	93,000
	スマートインフラ	36,744	42,163	3%	43,000
	アイケア	47,713	66,899	9%	62,000
	その他	1,698	1,335		1,000
	消去	△15,190	△19,505		△19,000
	合計	148,688	215,625	10%	180,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	8,358 (10.8%)	15,427 (12.4%)	17%	-
	スマートインフラ	6,393 (17.4%)	5,037 (11.9%)	-	-
	アイケア	2,896 (6.1%)	3,968 (5.9%)	8%	-
	その他	△65	△344		-
	調整	△3,986	△4,551		-
	合計	13,596 (9.1%)	19,537 (9.1%)	10%	20,000 (11.7%)

四半期別業績推移

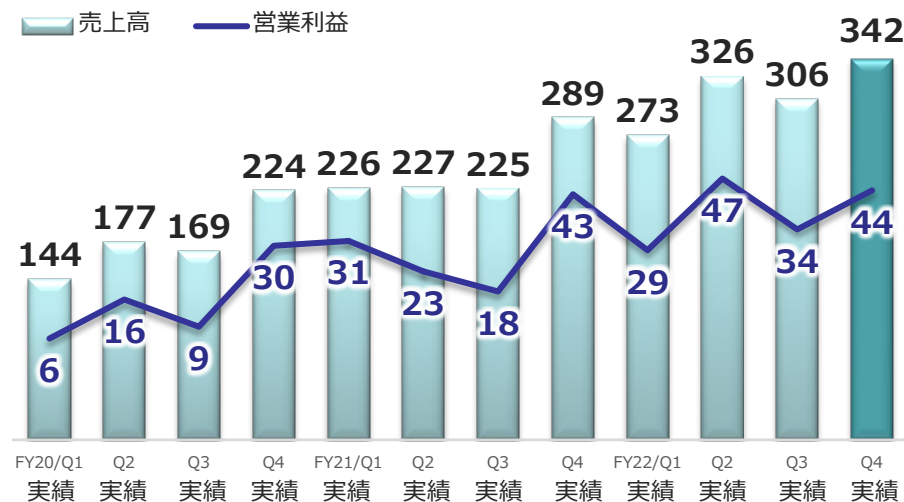
■ 全社

(単位：億円)



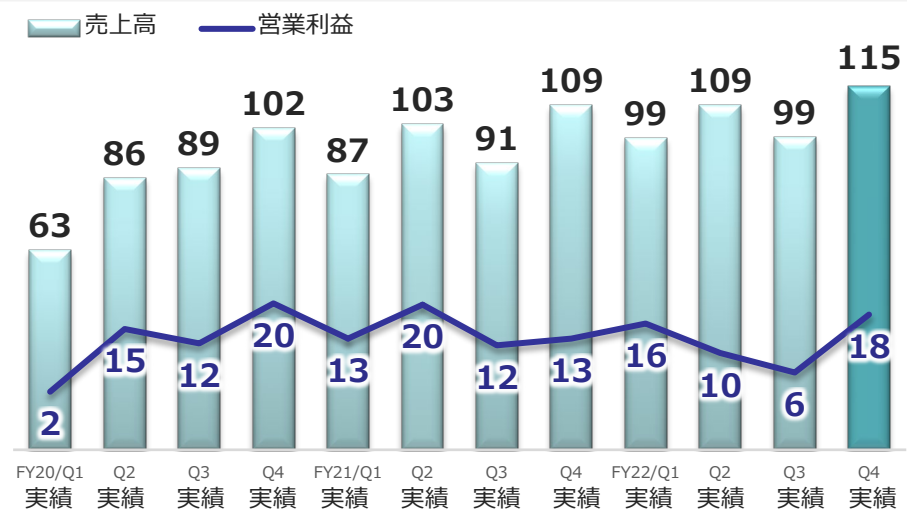
■ ポジショニング・カンパニー

(単位：億円)



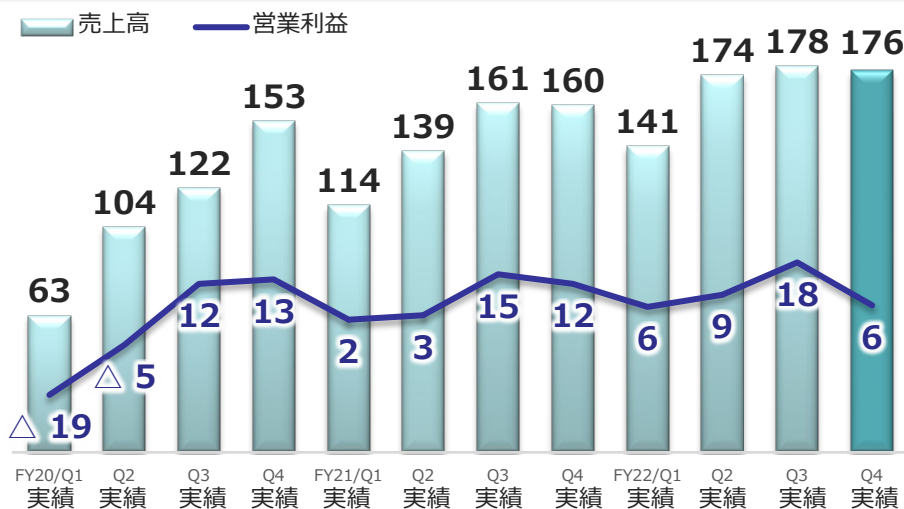
■ スマートインフラ・ビジネス

(単位：億円)



■ アイケア・ビジネス

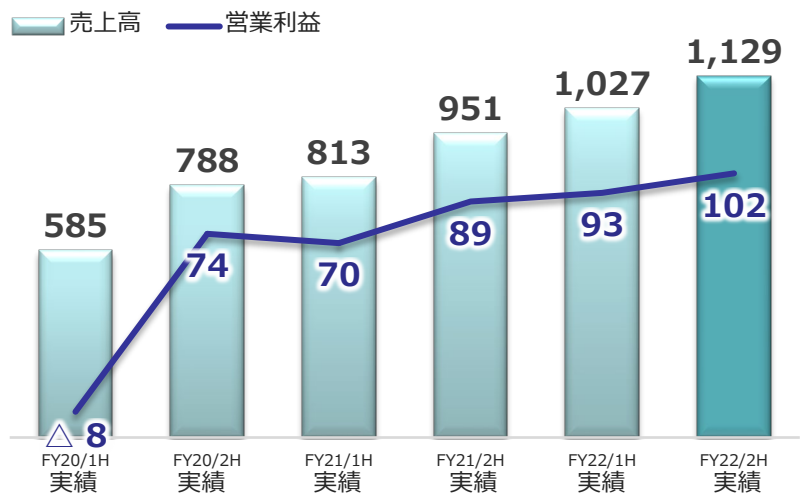
(単位：億円)



半期別業績推移

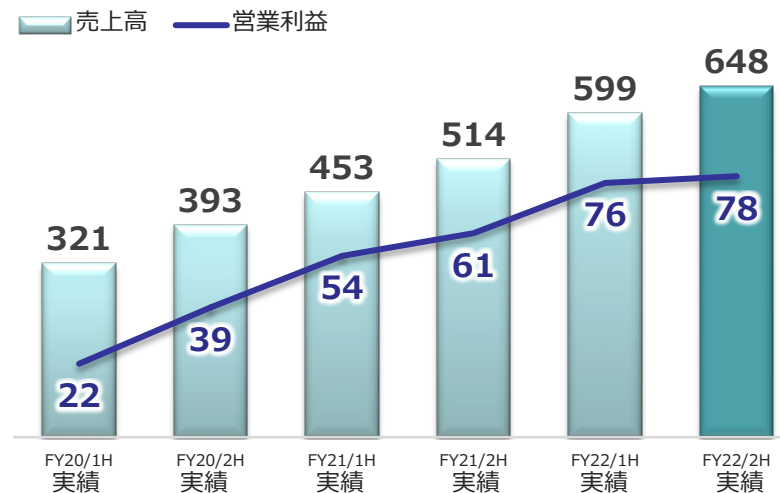
■ 全社

(単位：億円)



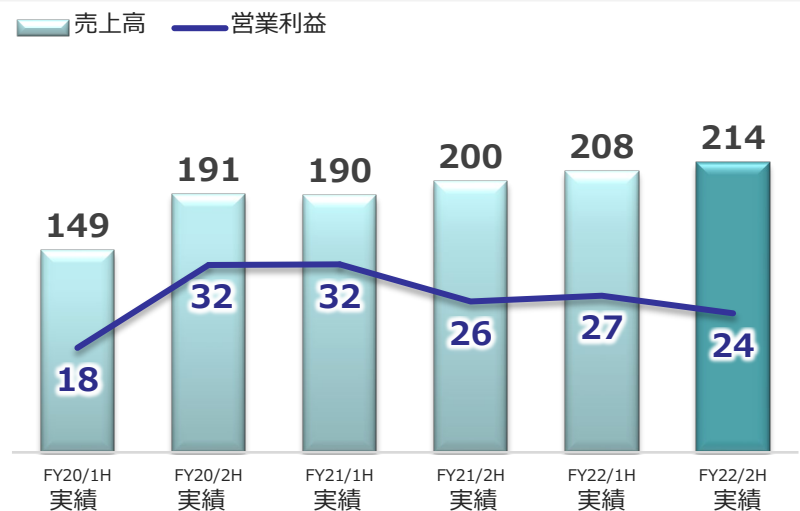
■ ポジショニング・カンパニー

(単位：億円)



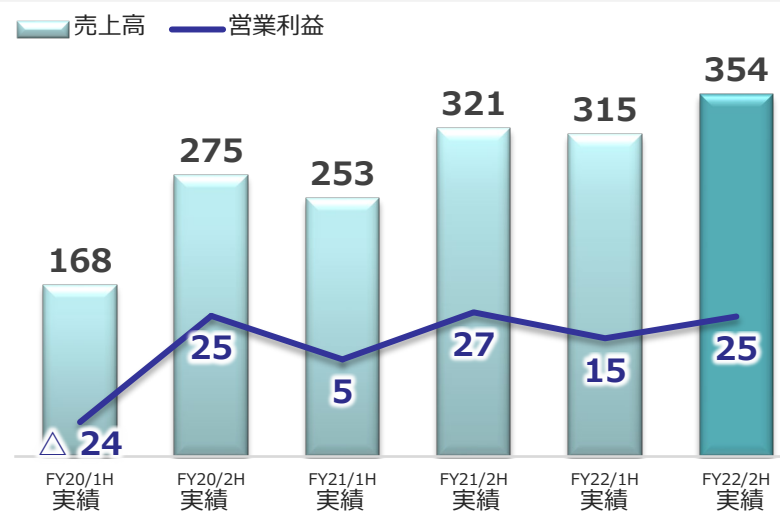
■ スマートインフラ・ビジネス

(単位：億円)



■ アイケア・ビジネス

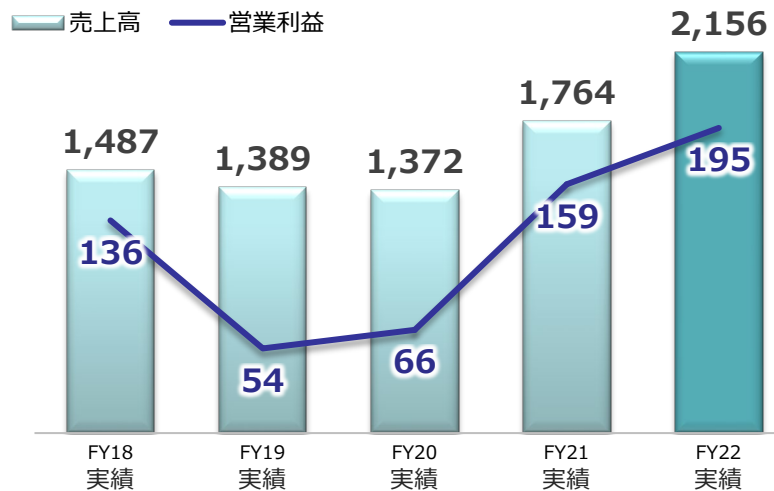
(単位：億円)



年度別業績推移

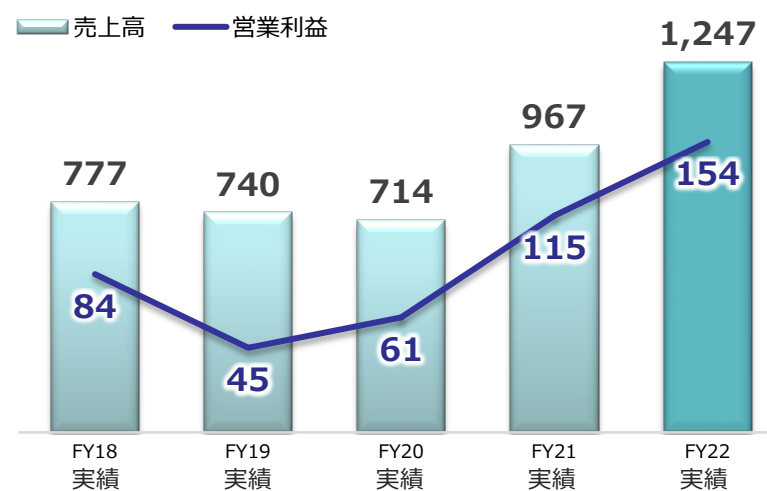
■ 全社

(単位：億円)



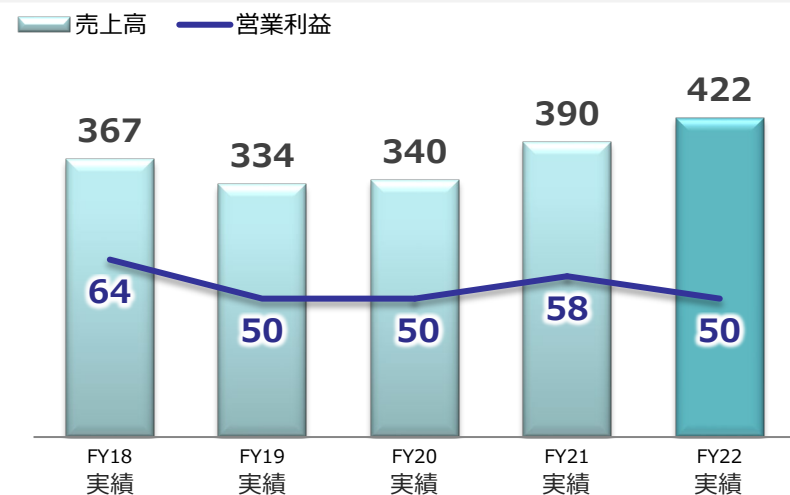
■ ポジショニング・カンパニー

(単位：億円)



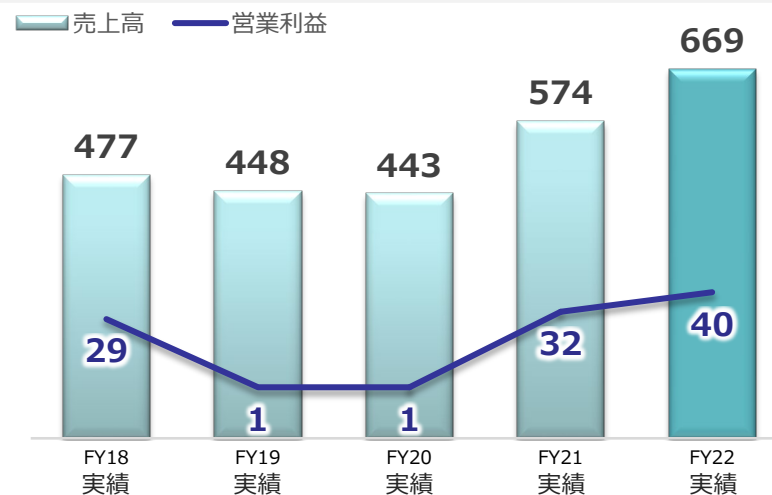
■ スマートインフラ・ビジネス

(単位：億円)

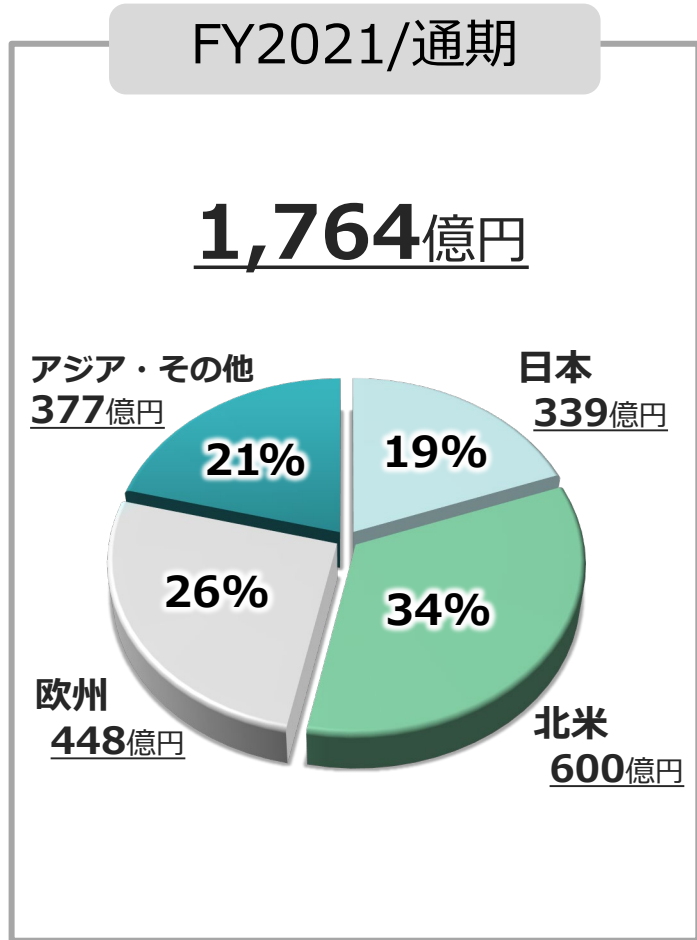


■ アイケア・ビジネス

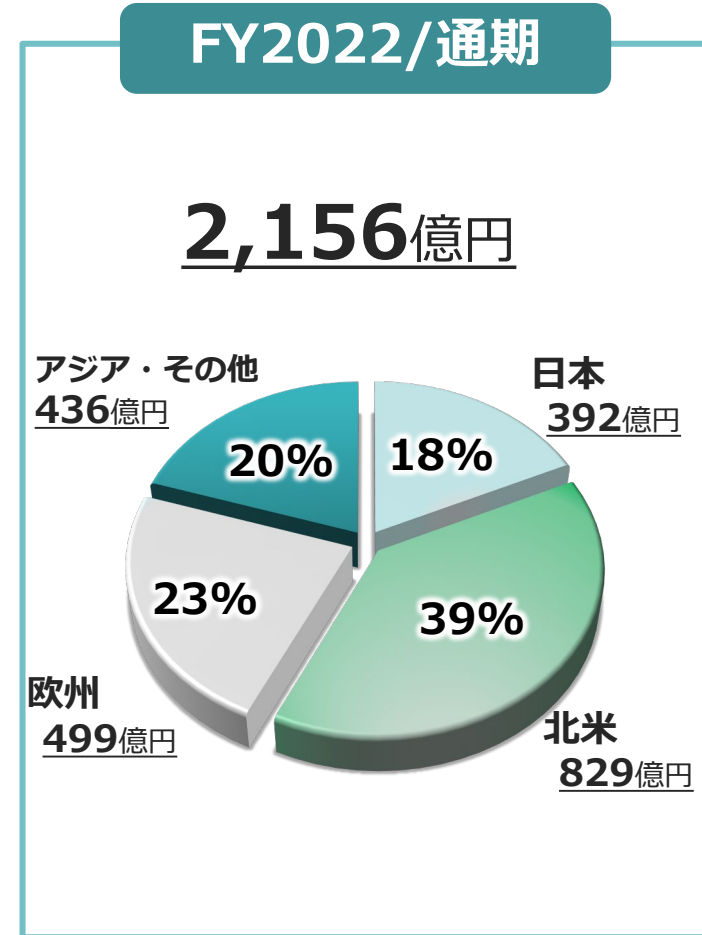
(単位：億円)



地域別売上高

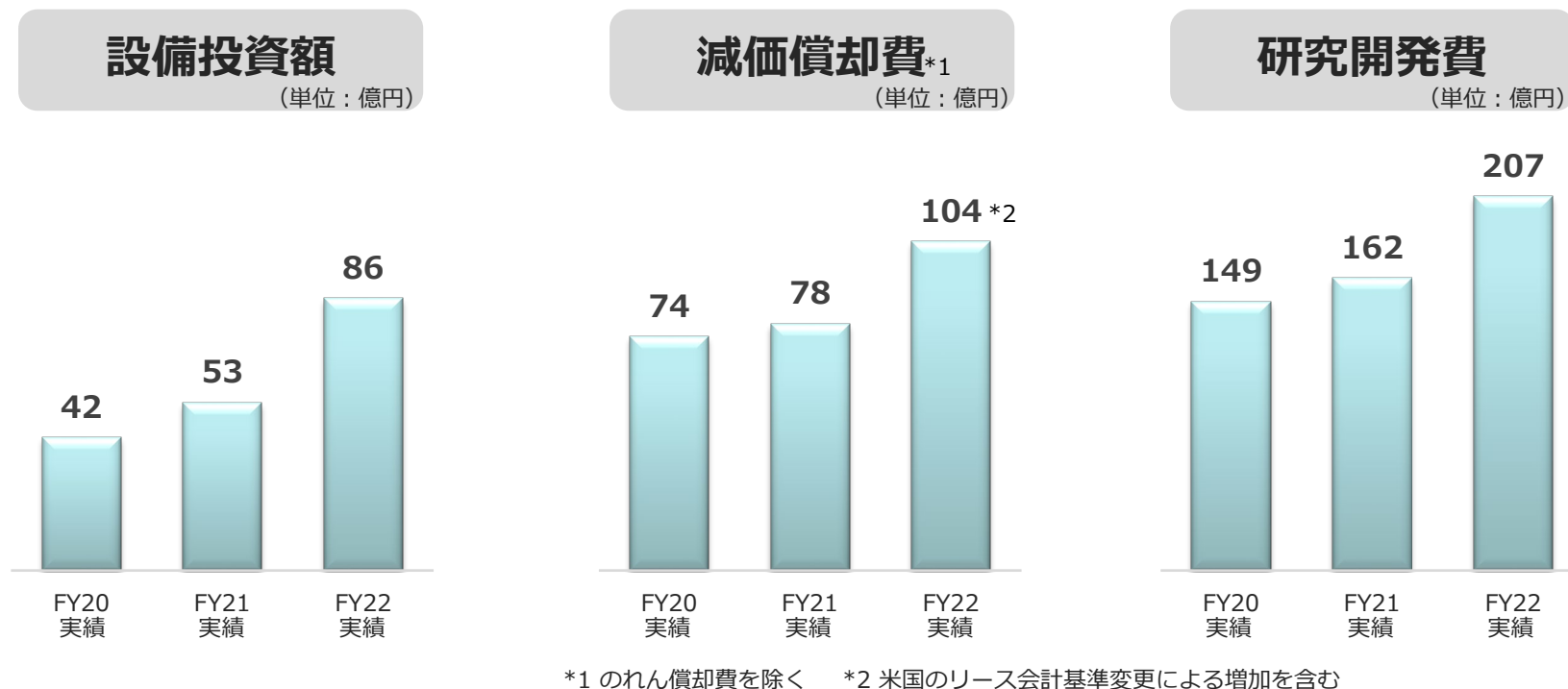


前年比
+22%



設備投資および研究開発費 / 為替感応度

投資額・費用見通し



為替感応度 (1円の変動による影響額)

USD : 営業利益 1.5~2億円

EUR : 営業利益 0.7~1億円



当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>